

教育開発出版は、2017年10月に「ENGLISH DISCOVERシリーズ」を発刊致しました。この教材は、学習した文法範囲で英語の思考力問題に取り組むことで、正しい読解力、論理的思考力を養成する問題集です。そしてこの度、様々な導入実践例を紹介する「ENGLISH DISCOVER Times」を創刊致します。今回は茨城県立並木中等教育学校で授業内にお使いいただいた事例をご紹介します。

事例① ENGLISH DISCOVER I P.4 第2章 I am not ~. Are you ~?の文より

1 次のア～ソの単語の中で、種類の同じものが3つずつあります。それぞれのグループに分けて記号で答えなさい。

ア car	イ hat	ウ bus	エ lion	オ skirt	カ elephant
キ violin	ク racket	ケ golf club	コ flute	サ piano	シ horse
ス shirt	セ train	ソ ball			



[] [] [] / [] [] [] / [] [] []
[] [] [] / [] [] []

グループワーク(4人)

▶まずは各自に問題を解かせ、グループで答え合わせをします。

活動 その後、それぞれ選んだ単語のカテゴリーを考えさせます。単語は学校で配布されている各自の紙辞書で調べてグループで話し合います。例えば car, bus, trainのグループは「乗り物」というカテゴリーでくくれるので、「vehicle」が答えです。生徒たちは我先にと辞書を開いてその単語を見つけて話し合っていました。





事例② ENGLISH DISCOVER I P.7 第5章 He is ~. Who is ~?の文より

2 下の表の人物を表す英文をア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。また、英文の()内に適する語を下の語群から選び、それぞれ英語で書きなさい。同じ語を何度使ってもかまいません。

- ア *Look at this person. (①) is a junior high school student. (②) is not from Australia.
イ Look at this person. (③) cap is white. (④) hair is short.
ウ Look at this person. (⑤) hair is black. (⑥) is not from the United States.
エ Look at this person. (⑦) hair is long. (⑧) is from Canada.

[注] Look at this person. : この人物を見なさい。

語群 [he / she / his / her]

(1) 	(2) 	(3) 	(4) 
from France	from Canada	from Australia	from the United States
six years old	twelve years old	twenty years old	fourteen years old



(1) [] (2) [] (3) [] (4) []
① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____ ⑦ _____ ⑧ _____

グループワーク(4人)

▶まずは各自に問題を解かせ、グループで答え合わせをします。

活動 その後、4人グループで1人1問ずつ、残りの3人に対してクイズを出題します。クイズのタイトルは「Who is he/she?」です。身近な人や芸能人などを、3つのヒント文から推察させる問題です。「ENGLISH DISCOVER」の問題を参考に、自分でクイズを作ります。

例) Who is he? 1.He is a math teacher. 2.He is very tall. 3.His glasses are red.

多かったのは上記のように学校で教えている先生を答えにした問題でした。生徒みんなにとって身近な存在なのでとても盛り上がりしていました。これは問題を創造するというCreative Thinkingの要素が盛り込まれた非常に効果の高い取り組みです。

事例③

ENGLISH DISCOVER II P.37 第13章 代名詞 より

カナダの友人の Tom が日本の大学に通うために、来月日本にやって来ます。Tom からのメールには一人暮らしを希望していること、どのような部屋に住みたいかといったことが書かれていました。次の英文はそのメールの一部です。彼の希望を可能な限り多く実現する部屋は下の A~D のどれですか。英文を読み、表や図を見て選びなさい。部屋に対する希望に優先順位はありません。また、あなたが Tom に確認しておいたほうがよいと考える条件は何ですか。あれば日本語で1つ答えなさい。

I'm looking for an apartment for about ¥70,000.

I'm interested in Japanese culture, so if it is possible, I'd prefer a Japanese-style room.

I like cooking very much, so I need a kitchen. I'd like to have a pet. I love dogs!

I'd like to live in a sunny room. I hope there is a convenience store nearby.

I'd like a room convenient for going to college.

I don't *care whether it is large or small. [注] care whether A or B : A か B か気にする

Room	A	B	C	D
Floor	7th	5th	4th	2nd
Rent	¥85,000	¥70,000	¥65,000	¥50,000
Air-conditioner	○	×	○	×
Style	Western	Western	Western	Japanese
Time to college	40 minutes	45 minutes	35 minutes	1 hour
Convenience store	10 minutes' walk	3 minutes' walk	20 minutes' walk	25 minutes' walk
Pet	○	○	×	×

A 48m²

B 36m²

C 29m²

D 25m²

[] 確認しておいたほうがよいと考える条件 ()

グループワーク(4人)、ペアワーク(2人)

▶ まずは各自に問題を解かせ、先生が生徒を当てて答え合わせをします。確認しておいたほうがよいと考える条件についても色々な新しい意見が出ました。条件も英語で言えるようにペアで相談しながら考えます。これだけでもかなり盛り上がります!

活動① 自分が住むならどの間取りの部屋が良いか、なぜそれを選んだのか4人1組のグループ内で発表し合う。

活動② ペアになり、片方が部屋を勧めるセールスマン、もう片方がクレームの多い客となって、誌面情報に無い色々な条件を出して会話をします。時間がきたら交替します。
活動②は、まさに Critical Thinking そのものと言える思考力を要するもので、いろいろな側面から物事を見る練習になりました。特にクレマー役の生徒が非常に楽しんでやり取りをしていました。

ENGLISH DISCOVERの見本のお申込みは弊社HPの特集ページからお願いいたします。当記事もHPで公開しております。

